

教員ワークショップの結果

実施期間：	令和7年6月13日（金）15：30～17：00：中学校 令和7年6月16日（月）15：30～17：00：小学校
対 象：	市立小中学校教員
概 要：	京田辺市立小中学校における新しい時代の学び、授業づくりを推進するために必要となる学校施設・設備について、明らかにするため、先に実施したアンケート結果を基に、新しい時代の学びを支えるための学校施設整備に向けて意見を重点化整理する。 （1）新しい時代の学びを支える学習環境の整備 （2）多様な背景や特性のある児童生徒への対応 （3）その他

（1）新しい時代の学びを支える学習環境の整備

新しい時代の学びの実績と課題

- ・各学校において学級活動や総合的な学習の時間を用いて、新しい時代の学びを実践しているところであり、対話や深い学びを重視している。他の教科については、教員それぞれによるところである。
- ・小学校では、教員が課題を与え、それをどう取り組んでいくかの学びが展開されているが、小学4年生にもなると、児童同士で話し合って進めるなど、いくつかの方法で学習をしようとしている。
- ・話し合いの単位としては、どの学校も4～5人である。
- ・タブレットが導入されたことで、他者との共有は実施しやすくなったが、ノートなどの紙媒体とも組み合わせて授業を進めている。
- ・ネットを介して他の学校と連携する授業は事例が出てきており、今後より一層進むと考えられる。また、自校の学年同士で一つの合同授業を行う可能性が示された。
- ・新たな学びの推進には、施設整備とともに、人的な面が非常に大きいことから研修実施を希望する声が多くあった。
- ・専科教員を配置する仕組みを作りたいとの声があった。

必要な施設・設備

○可動式の間仕切り等

- ・人数が多い中では展開が困難であり、元より準備された教室の設置が必要である。また、学年集会や学年縦割り活動、外部講師などの取り組みで活用できる学年全体が入れる部屋が欲しい。

- ・既存教室をつなげられる壁や、既存教室が少人数の形になるよう区切るができれば、使い勝手が良い。

○ホワイトボード

- ・各班が利用できるホワイトボードやモニターがあれば、班内での共有をより一層実施しやすくなる。
- ・実際にホワイトボードを導入した学校では、教室がきれいに保てる、見やすいといった肯定的な意見があったが、ペンなどの消耗品が多く必要になること、その他の教材もホワイトボード用に変更する必要がある、費用がかさむとのデメリットも指摘された。
- ・4面ホワイトボードは子どもが集中できなくなる懸念があり、授業運営上の必要性を感じられない。4面ホワイトボードを整備するなら、グループ討議や委員会活動での活用も想定し、1教室の整備にとどめるのがよい。

○コマ付きの椅子

- ・正しい姿勢を保てなくなる、怪我をするとの観点から導入はよくない。

○コマ付きで天板が大きい机

- ・机の上は、タブレット、教科書、ノート、筆箱などの物を置くスペースがなく、天板が大きい机が必要であるが、児童生徒数とのバランスや教室の大きさを変えられないと対応できない。
- ・天板が大きくなれば机の重量が増すため、机はコマ付きで動かせる方がよい

○学校図書室

- ・学年全体での調べ学習や、4～5人の班活動で対話できるスペースを確保し、それに伴うICT機器を設置して欲しい。また、司書が読み聞かせしてくれるなどの連携も必要である。中学校は自習ブースもあるとよい。

○ICT機器

- ・テレビ、モニター等は、省スペースとなるような工夫をしての設置をしてほしい。プリンターもあると画面上での考えが出力できてよい。

（２）多様な背景や特性のある児童生徒への対応

○保健室

- ・主に体調不良の子どもに対応しているが、悩みを聞いて欲しいという子どもの対応もしている。両方の子どもがいる場合、悩みへの対応が難しいため、別に小さな相談室の設置が各学校とも必要である。

○心を落ち着かせるための部屋

- ・教室に入れず、心を落ち着かせる必要がある子どもは増加傾向にあり、各学校に小さめの落ち着くための部屋が必要である。

○校内教育支援センター

- ・校内教育支援センターは成果を上げており、効果が出てきている。今後も引き続き、専用の部屋を用意し、パーテーションやソファ等の備品整備と共に、対応する人を配置して運用する必要がある。なお、当該施設の配置については、他者に見られないよう、配慮できる動線にする必要がある。

（３）その他

○児童生徒の収納スペース

- ・現在のロッカーでは十分に収納ができていない。
- ・ロッカールームの設置には、場所と防犯面の対策が課題となる。

○特別教室

- ・視聴覚室はタブレットが導入されて以降使用頻度が低下している。また、ＰＣルームも中学校はプログラミングの授業で必要であるが、使用頻度は低い。よって、それらを合わせて、１つの大きな多目的教室として再編したほうが良い。
- ・図工、音楽、家庭科、理科は、授業で必要な物品があり、普通教室等で実施することは授業運営上、手間が多い。図工室、音楽室、家庭科室、理科室等の特別教室はしっかりと配置してほしい。

○学年全体の集会できる部屋

- ・プール跡地に設置してほしい。

○体育館、サブ体育館

- ・プロジェクター、スクリーン、モニター等のＩＣＴ機器を充実させてほしい。
- ・現在、学年集会の場として体育館を利用しているが、ＩＣＴ機器を充実させた体育館の機能を装備した、サブ体育館を設置してほしい。

○職員室

- ・ＩＣＴ機器を導入し、教員間で情報共有がしやすく、多様な勤務形態の教員がいる中でも、机が１人１台確保できる大きさの職員室が必要である。

○会議室

- ・職員室で職員会議を実施しているところが多いが、別に会議室を設けてほしい。
また、オンライン会議にも対応した小さめの会議室も複数あればよい。

○更衣室

- ・昨今の意識の高まりから、専用の更衣室が数カ所必要である。

会議報告書

会 議 名	新しい時代の学びを支える学習環境の整備に向けたワークショップ（中学校）
日 時	令和7年6月13日（金）午後3時30分～5時00分
場 所	京田辺市役所4階401会議室
出 席 者	（中学校教員）4名 （事務局）7名 株式会社ウエスコ、教育総務室、こども・学校サポート室
内 容	1. 目的説明 2. アンケート結果の説明 3. 討議

会議目的

京田辺市学校教育審議会の審議の参考とするため、教員を対象としたワークショップを開催し、先に実施したアンケート結果を基に、新しい時代の学びを支えるための学校施設整備に向けて意見を重点化整理するもの。「新しい時代の学びを支える学習環境の整備」を最重要項目とし、教員が新しい学びを実際にどう考えているのか、また、その学びや授業を推進するために必要な学校施設・設備を明らかにすることを目的とする。

議事要旨

（１）新しい時代の学びを支える学習環境の整備

【新しい時代の学びの実践と課題】

- ・どの学校も、学級活動や総合的な学習の時間を使って実践しているところであり、問題解決型の授業に取り組んだり、行事に取り組むまでの課題を生徒自身で設定したりして、協働的な学びを推進している。他の教科への波及実践については、教員それぞれに依っている。研修などが必要ではないか。
- ・中学生となると身体も大きくなり、ＩＣＴ機器も増えていることから、３５人学級であったとしても、授業中の展開で机椅子の移動は非常に困難である。もともとそういう部屋が準備してあって、使えるのがよい。
- ・話し合い活動の単位は、主に４人での班活動としている。
- ・班で共有にはタブレットを使うが、もう少し画面が大きく共有しやすい設備があるとよい。
- ・タブレット、教科書、ノート、筆箱を置くと、机の上はいっぱいである。
- ・ロッカーには、教科書等がおいてあり、十分なスペースがなく、机に掛けるなどしている。

【新しい時代の学びに必要な施設・設備】

・可動式の間仕切りを採用した教室

間仕切りで大きくする教室よりも、2～3クラスが入れる部屋やピロティがある方がよい。学年全体の集会や学年縦割り活動、外部講師や地域の方を呼んでの活動をする時に使いたい。

1つの教室内を間仕切りで仕切れる方が使い勝手が良い。少人数スペースや特別支援学級、不登校生徒の対応をするための部屋は、普通教室より小さめの大きさに細分化したものが落ち着かせるのによい。

・4面ホワイトボード

ホワイトボードでの授業経験がないので、黒板とどちらが良いかは判断できないが、将来的には板書する授業は少なくなる見込みであり、ICT機器との関係から移行するのが良いかもしれない。

4面については、特性のある子どもによっては集中できない可能性もあり、全ての教室に整備することは混乱するかもしれない。ただし、グループ討議や委員会で活用できそうであり、各校1部屋は整備するとよい。

・移動が容易なコマ付きの椅子、天板が大きい机

椅子は遊ぶ可能性があり、怪我も考えられるので、余計な指導が必要となることから整備しない方がよい。机が動かせる方がよい。

机には、タブレット、教科書、ノート、筆箱と置く物が多いので、新JISの天板であっても、手狭である。広くしてノートや資料を広げられると考察を行いやすくなるが、今以上に大きくすると机間の通路がなくなる。

・授業にも使える学校図書室

調べ学習の充実、書籍を使った授業展開には、次の機能・設備が必要である。

- ①学年が入れる大きさ
- ②4～5人の班で話ができるスペース
- ③移動しやすい椅子
- ④各班で利用できる可動式のホワイトボード
- ⑤プロジェクター等 ICT 設備
- ⑥自習ブース（放課後の利用を想定）

（２）多様な背景や特性のある児童生徒への対応

・保健室

体調不良の生徒や悩みを聞いてほしい生徒の両方を対応する必要があるが、1つの保健室では対応できない。

・クールダウンが必要な生徒への対応

専用の小さめの部屋が必要で落ち着くために畳などがあった方がよい。音の配慮については、（中学生なので）生徒自身で対処しており、防音室であることは必須ではない。

・不登校、校内教育支援センター

不登校生徒用の部屋を設けている。校内教育支援センターには人が配置されている。校内教育支援センターは成果を上げており、今後も継続した配置が必要と感じている。なお、同級生等には見られないよう配置場所の配慮が必要である。

（３）その他

・ロッカー

ロッカーを廊下に置いたり、ルームを設置して普通教室の空間を広げる必要があるが、防犯面に留意する必要がある。

・サブ体育館（集会所）

体育館の規模が生徒数と見合っていない学校については、卓球やダンスができる規模の屋内の活動場所が必要である。

・視聴覚室・ＰＣルーム

使用頻度は低いが、プログラミングの授業で必要である。また、スペックが要求される。

・更衣室

男女別の更衣室が必要である。

会議報告書

会 議 名	新しい時代の学びを支える学習環境の整備に向けたワークショップ（小学校：大規模＋適正規模）
日 時	令和7年6月16日（月）午後3時30分～5時00分
場 所	京田辺市役所3階301・302会議室
出 席 者	（小学校教員）8名 （事務局）5名 株式会社ウエスコ、教育総務室
内 容	1. 目的説明 2. アンケート結果の説明 3. 討議 4. 発表

会議目的

京田辺市学校教育審議会の審議の参考とするため、教員を対象としたワークショップを開催し、先に実施したアンケート結果を基に、新しい時代の学びを支えるための学校施設整備に向けて意見を重点化整理するもの。「新しい時代の学びを支える学習環境の整備」を最重要項目とし、教員が新しい学びを実際にどう考えているのか、また、その学びや授業を推進するために必要な学校施設・設備を明らかにすることを目的とする。

議事要旨

（１）新しい時代の学びを支える学習環境の整備

【新しい時代の学びの実践と課題】

- ・各校、様々な取り組みをしているが、キーワードとして「深い学び」「話し合い、対話」、「新しい気づき」、「学び方の自己選択」が挙げられる。教員として新しい時代の学びの実践に向け、研究を重ねているところである。
- ・教室、体育館、学校にスペースがないため、大変苦勞している。
- ・授業でタブレットを活用することはメリットが大きいので、普通教室をはじめ各部屋にＩＣＴ機器を導入していったほしい。
- ・各学年に専科教員を1名配置する仕組みを作ってほしい。

【新しい時代の学びに必要な施設・設備】

・可動式の間仕切りを採用した教室

教員によっては、動かない部屋が良いと考える者もいる。

既存教室の壁が動かして、複数のクラスの合同授業ができるのならばよい。

・4面ホワイトボード

4面ホワイトボードについては、スペース、自然採光等から導入には課題があり、授業での使用も使うか分からない。

ホワイトボード自体は教室が奇麗になる、見やすいといったメリットがある。スペース的な観点からは、ホワイトボードと移動式プロジェクターを組み合わせ設置し、大型掲示装置は撤去するのがよい。吊り下げ式もあるのであればよい。また、メイン黒板の横に設置し、サブ的な活用も考えられるとのことであった。

・移動が容易なコマ付きの机、天板が大きい机

移動が容易な椅子は、正しい姿勢が保持できず、怪我の可能性もあり、しっかり正しく座る指導とは合わないことから否定的であった。

児童の身長差は大きいので、机の高さを統一して身体に合わないものを使うことは考えられない。

椅子は座面が堅く、長時間座るのはしんどいと思われる。

机の上に物が乗りきらないため、大きな天板の机は必要だが、大きくなると重量が増し、移動が困難となるため、移動が容易なコマ付きの机は賛成である。そして、授業中はストッパーで固定できるものである。

・授業にも使える学校図書室、視聴覚室・P Cルーム

学校図書館は、現在使い方の説明はするが、授業には使っていない。

P Cルームの使用頻度が低いため、図書館と合体させてメディアルームとして再整備することはできないか。書籍やインターネットを活用した活動が1箇所のできるイメージ。

・I C T機器

テレビを教室に設置するのであれば壁付けで上下に可動可能なものにして、現行の物は撤去し、教室のスペースを広げたい。

教室にプリンターを設置して印刷可能となると、学び方の幅が広がる。

(2) 多様な背景や特性のある児童生徒への対応

・不登校支援の教室

他の児童に会わない（見られない）配慮をした専用教室の設置と支援員の配置が必要である。

・相談室

保健室は体調不良の児童が休む場として機能しているが、話を聞いてほしい児童の対応を行うには別に相談室が必要である。

(3) その他

・特別教室

各教科でしっかりと機能する教室、図工室、音楽室、家庭科室、理科室が必要である。ない場合、必要な道具を倉庫から普通教室に持ち運びして対応している。なお、授業が重なって使用できないことがある、教科によっては2つ欲しいとの意見があった。

学年集会ができる規模の部屋がほしい。全学年が入れる規模で、2～3階建てのものがプール跡地に建設されるとよい。ICT設備、更衣室、トイレを完備し、机や椅子は設置せず、各フロアは空間だけである。学級数が減っても長く活用すると考えるとのこと。

・ロッカー

現行のロッカーでは、教科書、習字道具、絵の具セット等の児童の荷物が全て収まらない。

ロッカールームは、防犯面で心配であり、鍵付きとしたときになくす可能性がある。

・職員室

教員全員の席が確保できないほど狭い。机の間を通るのも気を遣うほどである。フリーデスクを検討したことがあったが、反対が多くあった。

現在、ホワイトボードに手書きで連絡事項を表示させているが、PC画面を投影できるモニターを設置して情報共有できるようにしたい。

職員室に隣接した印刷室を設置し、プリンターを増やしてほしい。

教員や児童も利用する10名ほどが入れる部屋が必要である。児童は班長会、教員はオンライン会議をする場である。オンラインが5つ重なったこともある。各校3部屋あれば理想的である。

- ・ 体育館

プロジェクターやスクリーン、モニター等の I C T機器を充実させ、それらがボタン1つで起動させられると良い。

学年が増えていく中で、器具の増加により収納場所に困るし、建物1つしかないものを分け合うのはしんどい。

- ・ トイレ

トイレの洋式化は最優先事項である。そして臭いもあるため、きれいなものへの更新が必要である。

- ・ 更衣室

小学生低学年であっても更衣室は必要であり、1クラスが入れる大きさの更衣室が数カ所ほしい。

(発表)

結論としてはスペースがあったらよいということであった。普通教室が広いこと、そしてホワイトボードは大分楽である。教室もよごれないし、見やすいが、ペンの消耗がかなり早いのがデメリット。大型テレビが各学校にはあると思うが、田辺小学校は試験的に、ホワイトボード上を移動できるプロジェクターがある。子どもの目線としてはすごく見やすいが、何か書きたいときに、その部分はプロジェクターのせいで使えないというデメリットもある。壁が全てホワイトボードよりも動かせるホワイトボードの方がよい。子どものロッカーは廊下に出た方がよい。各教室に水道があったらいいと思う。体育館であったり、職員室の広さであったり、広い方がよいし、フリースペースを学校内にたくさんあると良い。個人的には、教室間の壁が取り払えたりできたらよい。プール跡地に小体育館はどうかと思う。2～3階建てにして、学年で集まれるようなスペースをつくってほしい。箱、物を変えていかないと色々と面白いことはできない。

会議報告書

会 議 名	新しい時代の学びを支える学習環境の整備に向けたワークショップ（小学校・小規模＋適正規模）
日 時	令和7年6月16日（月）午後3時30分～5時00分
場 所	京田辺市役所3階301・302会議室
出 席 者	（小学校教員）7名 （事務局）4名 株式会社ウエスコ、教育総務室、こども・学校サポート室
内 容	1. 目的説明 2. アンケート結果の説明 3. 討議 4. 発表

会議目的

京田辺市学校教育審議会の審議の参考とするため、教員を対象としたワークショップを開催し、先に実施したアンケート結果を基に、新しい時代の学びを支えるための学校施設整備に向けて意見を重点化整理するもの。「新しい時代の学びを支える学習環境の整備」を最重要項目とし、教員が新しい学びを実際にどう考えているのか、また、その学びや授業を推進するために必要な学校施設・設備を明らかにすることを目的とする。

議事要旨

（１）新しい時代の学びを支える学習環境の整備

【新しい時代の学びの実践と課題】

- ・小学校では、児童自身で課題設定することは難しいので、教員の方で課題設定を行い、与えられた課題にどう取り組むかを見ている。4年生以上であれば、児童同士で話し合って進めるなど、いくつかの方法で学習しようとする。
- ・新しい学びは、施設・設備面よりも、人材面の部分が大きいが、道具の工夫があると取り組みはしやすくなる。体育では、児童の動作の映像を確認して、振り返りに生かすなどしている。
- ・研修等により資質の向上が図れる取り組みを合わせて行うことが重要である。
- ・タブレットが導入されたことで学び合いや共有し合う等は容易になった。しかし、紙の教科書やノートも使いやすい場面があり、使っている。
- ・ネットを介して、他の市内の学校とつながって、生徒会活動や道徳的なものを行った事例があり、今後市や国を超えてつながったり、同一学校内でも3クラス合同といった形で繋げて授業することも考えられる。

- ・特別教室や体育館にもモニターがあるとよい。また、4人班が班内で共有するためのモニターがあると活動が活発になると思う。なお、小さい子の場合は、ホワイトボードがいいかもしれない。

【新しい時代の学びに必要な施設・設備】

- ・可動式の間仕切りを採用した教室

間仕切りで廊下分が大きくなっても、効果はわからない。広い廊下があって、2学年が一度に授業できるようなら意味がある。逆に、教室内を少人数教室用に仕切れるなど、内部分割できる方が使い勝手が良いと思う。

机と椅子の移動は結構な手間がかかり、もともと準備してある教室の設置の方がよい。理想は大きな多目的教室である。プールの跡地に設置してほしい。

- ・4面ホワイトボード

今もメインは黒板であり、4面の必要性を感じていない。

黒板から電子黒板にして、書き込みができ、投影もできるものがよい。そうすれば、大型掲示装置をなくし、スペースが空く。

- ・移動が容易なコマ付きの椅子、天板が大きい机

姿勢良く座るよう指導しており、椅子は動かないものがよい。椅子は運べるので、机の方が動かせるとよい。また、椅子の座面は木であり、腰が痛くならず、疲れないものがよい。

タブレットが増え、机の上は物で一杯である。今の天板の大きさでも、折りたたみ式で拡張機能があるとよい。汎用性である。それが難しいなら、天板を大きくすると、教室自体を大きくしないと入らない。

- ・授業にも使える学校図書室

調べ学習の充実、書籍を使った授業展開には、次の機能・設備が必要である。

①学年が入れる大きさ

②画面表示できる掲示装置

③司書がいて読み聞かせ等の実施

また、昇降口に学校図書館が隣接して配置され、教室に入りづらい子が一旦落ち着く場所として活用したり、他校とのネット連携場所として活用できるとよいという意見があった。

（２）多様な背景や特性のある児童生徒への対応

・保健室

教室に入りにくい子どもが落ち着くために利用することがある。児童や保護者の相談場所として、保健室とは別で小さい部屋があると良い。

・クールダウンが必要な生徒への対応

教室になかなか入れない子どもがおり、落ち着ける部屋が必要である。通路と通路の間に落ち着くための半個室を設置する場合、安全面の配慮が必要であり、見守りが必須である。

・不登校、校内教育支援センター

教室になかなか入れず、校門で渋ってしまう子どもにとってセンターは有用であり、効果はある。そういった子どもは増加傾向にあり、どの学校にも必要である。なお、人員が配置されていることからうまく運用できており、設置に当たっては、人の目が気にならない動線となるよう配慮が必要である。

（３）その他

・ロッカー

現在、児童の荷物を収容しきれていない。ロッカールームの設置は、防犯等の安全面が課題である。また、棚の位置が変更できる汎用性を持たしたロッカーがよいのではないかな。

・職員室

広さに余裕はなく、多様な勤務形態の教員が多くいるので、１人１台確保するのは困難である。ＩＣＴ機器も増え、配線もあることから、ますます狭くなっている。

別に会議する場所が欲しいし、大型モニターも必要である。

教員用ロッカールームを設置したほうがありがたいが、物は減らないと思う。

・視聴覚室・ＰＣルーム

視聴覚室とＰＣルームを合わせて、１つの大きな多目的教室として活用してはどうか。

・更衣室

教室で着替えさせているが、男女別が必要である。特別教室での対応も授業との関係で良くはない。

(発表)

広さが大事であり、出た意見のキーワードとしては「汎用性」である。話の初期には、間仕切りであったり、ホワイトボードの話であったり、色々あったが、どのような対応もできる汎用性が重要ではないかということである。

また、もう一つのキーワードとしては、「オンライン」である。今も使っているが、もっと有効に活用して、例えば算数が得意な先生がいれば、違う学校の授業でも、その授業を見られるとかが良いのではないかと思う。どんどんと学校や世界へつなげていって広がることが10年後の新しい教育につながっていくのではないかと思う。

汎用性の点では、ロッカーも収納部分の大きさを変えたり、机も天板を可変なものにしたりが考えられるが、つきつめていくと、その実現にはどこまで可能なのか、施設や物を整えても、使う人側の問題もあるし、導入コストもあるし、そのあたりも視野に入れながら、進めていく必要がある。

教員アンケートの結果

実施期間：令和7年5月1日（木）～5月20日（火）

対 象：市立小中学校教員411名（小学校275名、中学校136名）

回 答：260名（小学校187名、中学校73名）

回答方法：QRコードによる回答

概 要：先生方が新しい時代の学びをどう捉えて実践しているのか、それを推進するための学校施設・設備について把握するアンケートを4項目で実施。まとめた結果は、学校教育審議会において、学校施設のハード整備に係る基本的な考え方を審議するための重要な基礎資料として活用する。

（1）新しい時代の学びを支える学習環境の整備

（2）多様な背景や特性のある児童生徒への対応

（3）地域との連携

（4）生活安全面

（1）新しい時代の学びを支える学習環境の整備

【Q4. これからの公立学校での学習において特に重点を置くべきこと】

23項目から3つまで○を付けてもらい、選択が多かったものを順に並べ、5位までを表示している。

選択が多い順	小学校		中学校	
1	48%	学力の向上（成績の向上）	55%	コミュニケーション能力の向上
2	41%	コミュニケーション能力の向上	51%	学力の向上（成績の向上）
3	39%	少人数教育の実施	26%	不登校対策
4	25%	特別支援教育の充実	22%	特別支援教育の充実
5	16%	不登校対策	15%	キャリア教育

- ・小学校では、「学力の向上」、「コミュニケーション能力の向上」に半数近くの教員が、中学校では、半数以上の教員がそれらへ重点を置いている。
- ・「特別支援教育の充実」や「不登校対策」は、小学校、中学校ともに重点をおくべき上位のものとして捉えられている。
- ・小学校では、「少人数教育の実施」について重点を置くべきとする教員が多く、また全ての小学校教員から選択されている。
- ・中学校では、「キャリア教育」が上位に入ってきており、全ての中学校教員から選択されている。
- ・上記の重点事項を実現するための取組には何が必要かを尋ねたところ、主なものは、教育内容を時代に合わせて充実させること、積極的な研修の実施、教員や支援員の

増員、事務見直しによる教員の負担軽減が挙げられた。また、家庭での教育力の向上等が必要であるとの意見もあり、ソフト面に関する意見が大半であった。ハード面に関する意見は、学校施設・設備の老朽化への指摘があり、更新が必要というものであった。

【Q 6. 協働的な学びを組みこんだ授業で重視して取り組むもの】

6項目から2つまで○を付けてもらい、選択が多かったものを順に並べている。

選択が多い順	小学校		中学校	
1	50%	他者と共に問題の発見や解決に挑む等の学習活動の設定	59%	他者と共に問題の発見や解決に挑む等の学習活動の設定
2	41%	児童生徒一人一人の意見や考え等をグループや全体で共有し、比較する学習活動の設定	38%	多様な意見を共有しつつ合意形成を図る学習活動の設定
3	35%	多様な意見を共有しつつ合意形成を図る学習活動の設定	32%	自分の意見や考え等を全体で発表する場の設定
4	31%	自分の意見や考え等を全体で発表する場の設定	26%	児童生徒一人一人の意見や考え等をグループや全体で共有し、比較する学習活動の設定
5	20%	学習内容や身についてたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識付けさせる学習活動の設定	23%	学習内容や身についてたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識付けさせる学習活動の設定
6	4%	学校外とつながる学習活動の設定	4%	学校外とつながる学習活動の設定

- ・小学校、中学校ともに、「他者と共に問題の発見や解決に挑む等の学習活動の設定」が最重要視されている。
→探求する学習活動が取り組まれていると思われる。
- ・2番目は、小学校では「児童一人一人の意見や考え等をグループや全体で共有し、比較する学習活動の設定」、中学校では「多様な意見を共有しつつ合意形成を図る学習活動」に重きを置く教員が多かった。

【Ｑ８．柔軟で創造的な学習空間の実現に向けて、５つの設備について活用するか尋ねたもの】

設備	小学校		中学校	
	Yes	No	Yes	No
空間を広げられる壁を可動式の間仕切りした普通教室	148 人 79%	38 人 20%	40 人 55%	30 人 41%
児童生徒がグループ学習で整理しやすいよう壁４面をホワイトボードにした普通教室	123 人 66%	61 人 33%	37 人 51%	33 人 45%
移動が容易なコマ付きの椅子	56 人 30%	126 人 67%	17 人 23%	53 人 73%
天板が大きい机	158 人 84%	26 人 14%	54 人 74%	17 人 23%
読書だけでなく、対話や授業に活用できる机椅子が整備された学校図書館	175 人 94%	10 人 5%	57 人 78%	13 人 18%

- ・可動式の教室の活用は、小学校 79%、中学校 55%が Yes であった。
- ・４面ホワイトボードの活用は、小学校 66%であるが、中学校 51%が Yes であった。ホワイトボードへの変更は肯定的な意見が多いが、４面となると特性のあるこどもがどこに注目すればよいのか迷うようになるといった意見があった。
- ・移動が容易なコマ付きの椅子の活用は、小学校、中学校ともに No が約 7 割であった。理由としては必要のないときに移動したり、個別学習の時に集中できなくなったりするなどの懸念が意見としてあった。
- ・天板が大きい机の活用は、小学校 84%、中学校 74%が Yes であった。小学校は旧 J I S 規格であることから中学校より大きくなったと思われる。
- ・対話や授業に活用できる学校図書館の活用は、小学校 94%、中学校 78%が Yes であった。

【Ｑ１０．特別教室等について、各諸室で教育活動を行う上での課題の有無】

特別教室で課題があるとされた部屋を多い順に並べ、５位までを表示している

課題があると回答した多い室順	小学校		中学校	
１	68%	職員室	56%	体育館
２	59%	保健室	51%	職員室
３	40%	理科教室	37%	会議室
４	37%	視聴覚室	30%	P C ルーム
５	35%	体育館		進路資料・指導室 保健室

- ・小学校、中学校ともに、職員室が狭く、老朽化しているとの意見が多数あった。また、黒板等で情報共有しているが、電子掲示板等はなく、I C T機器の導入が十分ではない、教員数名で協議する場がないといった意見があった。
- ・学校規模が大きいと職員室が2つに分かれることになるが、情報共有の面で支障があるとの意見があった。
- ・体育館は、備え付けのトイレは汚く、段差が多い施設であり、備品を収納するスペースが少ない、大型モニターを設置してほしいとの意見があった。
- ・体育館は、夏場が暑く、熱中症対策が必要であるとの意見があった。
- ・保健室は、体調が悪くて休んでいる子がいるところに、なやみの相談をうけるのが難しいといった意見があった。

→大規模校では保健室に課題があるとの選択が少なく、校内教育支援センターが影響しているのではないかと思われる。

- ・1人1台タブレットがあるので、小学校では視聴覚室はあまり使わない、中学校のP Cルームも同様で使用頻度が低い。また、暗いイメージがあるとの意見があった。
- ・中学校では、学校規模に関わらず、会議室がないとの意見が多くあった。
- ・進路資料・指導室は課題があるとされるが、具体的な内容の記載がなかった。
- ・通級指導教室は、殺風景、本などの備品が古いままであり、配置場所によっては普通教室と距離があり、疎外感を感じるという意見があった。また、音楽室の近くだと、集中できないとのことである。
- ・音楽室は、椅子がない学校もあるとのことであり、また椅子があっても昔の背の低い椅子であるため、今の子どもの体格には合っていないとの意見があった。
- ・小学校からは、図画工作室がほしいという意見が複数の学校からあった。
- ・課題への対策については、建替や大規模修繕の意見が多くあった。
- ・I C Tや最新器具を導入するよりも、まずは、勉強の基本となる机と椅子をきれいなものにしてほしいという意見が複数あった。
- ・不要物品の整理・廃棄や器具を新しい物にするといった意見があった。

【Q 1 3. 新たに必要となる特別教室や役割を終えて今後不要となる特別教室等】

- ・1人1台タブレットがあるので、小学校においては視聴覚室やP Cルームの必要性が低下しているという意見が複数あった。
- ・P Cルーム+図書室→アクティブラーニングルームやメディアルームにしてはどうかという意見があった。
- ・今は学年授業は体育館でやっているが、今後は学年が入れる大きな教室、多目的室が必要であるという意見があった。また複数ほしいとのことである。
- ・リモートでの研修や会議が増えており、それらに対応できる小さな部屋、会議室が必要であるとの意見があった。
- ・別室登校できる環境が必要であるとの意見があった。
- ・集団に入りにくい子どもの自習室やクールダウンできる部屋が必要であるとの意見があった。

そのほか、子どもたち用の更衣室、武道場、英語教室といった意見があった。

（２）多様な背景や特性のある児童生徒への対応

【Ｑ１４．落ち着いたりするための設備のアイデア】

主に、次の意見があった。

- ・教室の近くや廊下の隅に落ち着くスペース（クールダウン）。読書ができるような空間。床が畳や柔らかい素材。パーテーションがあって、バランスボールの椅子もある。
- ・廊下を広くし、本を読んだりできるコーナー
- ・椅子の脚の音の工夫
- ・集団での話し合い活動に耐えうる収音性
- ・狭い一人だけになれる空間、小さめの部屋
- ・相談室の増設
- ・多目的室等の広いスペース（他学年との自然な交流）
- ・更衣室
- ・ホワイトボード

（３）地域との連携

【Ｑ１５．学校の教育力向上に向けて、地域との協力関係で将来置くべき重点】

６項目から２つまで○を付けてもらい、選択が多かったものを順に並べ、２位までを表示している。

選択が多い順	小学校		中学校	
１	67%	授業補助（ゲストティーチャー等）の推進	49%	授業補助（ゲストティーチャー等）の推進
２	39%	地域の施設等を利用した校外学習の推進	37%	部活動・クラブ活動支援

小学校、中学校ともに、授業補助の推進に重点を置くとの意見であった。

また、地域との連携を実現するために必要な施設・設備はどのようなものがあればよいか尋ねたところ、次の案があった。

- ・ゲストティーチャーの授業が可能な、１学年が入れる多目的教室
- ・ゲストティーチャー、ボランティアの待機場所
- ・地域の登録人材バンクの作成
- ・地域コーディネーターの配置
- ・移動のためのバス

（４）生活・安全面

【Ｑ１７．学校の普通教室や設備について困っていることの有無】

学校設備について困っていることの選択が多かったものを順に並べ、５位までを表示している。

選択が多い順	小学校		中学校	
１	66%	児童生徒の収納スペース	77%	児童生徒の収納スペース
２	64%	トイレの使いやすさ	69%	普通教室の広さ
３	62%	机・椅子の使いやすさ	55%	手洗い場の使いやすさ
４	62%	手洗い場の使いやすさ	51%	トイレの使いやすさ
５	53%	床のきれいさ	48%	床のきれいさ

課題について主な意見は次のとおり

- ・教科書を学校に置くようになっており、リュックを入れる場所がない。絵の具や習字道具などの物が廊下にあふれてきている。
- ・廊下をよく利用する人がおり、狭い。
- ・ロッカーが狭い。
- ・３５人だとスペースがない。３０人でも狭いという意見もあった。
- ・トイレが古い。和式がある。洋式が少なく困っている。行列ができる。臭いがある。高学年の体格に合っていない。男女ともにトイレの中が見えるところもあるので、プライバシーに問題がある。
- ・家庭とかけ離れたトイレ環境であり、ただ洋式化するのではなく、ウォームトイレ、水洗洗浄機能を併せて整備してほしい。タイルなどの湿式ではなく、乾式への移行。
- ・トイレの数が児童生徒数に合っていない。
- ・児童によるトイレ清掃は行うものの、匂いや汚れの蓄積があり、一定間隔での業者による清掃が必要である。
- ・トイレが詰まることがよくある。
- ・トイレが暗い。
- ・机、椅子は担任が体格に合わせて調整しているが、児童自らが調整できるとよい。そもそも、調整できないものもある。
- ・机、椅子が古い。サイズもあっていないものが組み合わさっていたりする。
- ・机に穴が空いていたり、落書きのあるものもある。
- ・手洗い場ですが、教室数に比べ少ない。１クラスに１つ必要であると思う。
- ・手洗い場も低いところがあるので水がはねやすい。古いところでは詰まりやすい。
- ・普通教室がせまい。給食配膳台は入らない。
- ・荷物を机の横にかけるので、狭い。

- ・教室の扉や窓も老朽化している。閉めても隙間があいていたりする。
- ・情報機器を設置していただいているが、場所を取ってしまう。壁掛けするなどスペースを有効活用できるとよい。
- ・ＩＣＴ、ネットがつながりにくい時がある。
- ・床に凹凸がある。穴があり、虫がでてくることもある。削れてつまづきやすくなっているところもある。
- ・黒板の高さが変えられず、書きにくい。
- ・黒板に磁石がくっつくようにしてほしい。
- ・防犯備品が揃っているか、教員が把握しているか疑問である。
- ・扇風機が壊れているところがあるので直してほしい。
- ・階段や渡り廊下が濡れて滑りやすくなり、危険を感じる。
- ・長寿命化工事が終了した教室に比べて、旧校舎は暗すぎる。
- ・暗いところがある。
- ・校舎等を含めた建て替え、大規模改修工事、リフォームが必要である。
- ・通級指導教室について防音設備やプレイルームの設置等、通級指導に適した設備が必要である。

○その他

【Ｑ２０．プール跡地の活用】

１位：広場等の屋外空間（児童限定）

２位：駐車場（学校職員用）

※プールの跡地利用を学校関係者以外が行う場合、課題がある２８％、どちらとも言えない５０％、課題はない２１％であった。懸念は、主に安全面、管理の労力が挙げられていた。敷地に余裕があるところは少なく、学校教育の活用で考えてほしいとの意見があった。

【Ｑ２３．学校施設についての意見】

- ・近年、各学校で様々な機器等の故障があると感じる。学校の放送設備等の重要機器については、故障する前に定期的な点検が必要ではないか。
- ・他市の斬新な作りの学校があるが、実際はとても使いにくいという声があるとも聞いた。これまでの施設を十分に生かした施設づくりが必要である。
- ・毎年、保護者から施設についての意見がある。改善の見通しを教えてもらえるとありがたい。
- ・学校にある物が家にある物よりも明らかに古い物では、こどもたちはそもそも学習意欲がわかない。
- ・運動場が狭い。

- ・運動場が狭く中間休みか昼休みどちらかしか外に出られないため、ストレスが溜まっているように思える。プールの跡地を運動場にするなど子どもの遊び場を広げてほしい。
- ・運動場の水捌けが悪い。
- ・バリアフリー、エレベーター、障害者用トイレがない。そういう点では、校舎を利用する者にとって不便で仕方ない。震災時等地域の避難所になった場合も高齢者にはとても過ごしにくい、ストレスの溜まる避難所になる。
- ・職員の更衣室が狭かったり、トイレが少なかったり、休憩する場所がない。
- ・老朽化、水道のつまり、トイレのつまりが気になる。
- ・生徒数に対して活動場所が少ない。体育館が2つあればよい。生徒数に対して、教室数が切迫している。
- ・新しい施設でなく、机・椅子・黒板など、日常的に使うものを新しくして欲しい。
- ・熱中症対策
- ・机はもっと大きくなるべき。1クラスの人数を減らすべき。通級指導教室を増やすべきである。
- ・予算にもよると思うが、長寿命化計画に則り、生徒の学習環境と教師員の勤務環境、そして地域や保護者にとっても学校という特別な施設をより良いものにしてもらえたら嬉しい。
- ・児童数の増減を長期に見据え、できるだけ市内で格差が出ないよう設備の充実を図ってほしい。
- ・老朽化がひどいので工事を急いで欲しい。

児童・生徒アンケートの結果

実施期間：令和7年5月1日（木）～5月20日（火）

対 象：市立小学校4～6年生2,136名、市立中学校1～3年生1,929名

回 答：小学生1,902名、中学生1,702名

回答方法：QRコードによる回答

概 要：児童生徒が、学校のよいところや直したほうがよいところについてアンケートを実施。結果は、学校教育審議会において、学校施設のハード整備に係る基本的な考え方を審議するための重要な基礎資料として活用する。

（1）生活安全面（教室、図書室、特別教室、その他施設、プール）

【普通教室】

児童生徒に、教室の良さ・悪さをきいたもの

項目	小学生（人）		中学生（人）	
	良い やや良い	悪い やや悪い	良い やや良い	悪い やや悪い
広さ	1,748	153	1,360	343
黒板（大きさ・使いやすさ）	1,814	87	1,567	136
荷物を置く場所（広さ）	1,587	<u>314</u>	954	<u>749</u>
床（きれいさ）	1,323	<u>578</u>	1,180	<u>523</u>
机、椅子（使いやすさ）	1,637	<u>264</u>	1,365	338
明るさ	1,819	82	1,611	92
過ごしやすさ（暑さ・寒さ）	1,708	193	1,243	<u>460</u>

- ・床（きれいさ）について、小学生、中学生ともに3割ほどが、悪い・やや悪いを選択している。また、良いという声は2割程度であった。
- ・荷物を置く場所（広さ）について、中学生の半数近くが悪い・やや悪いを選択している。また、小学生も2割弱が悪い・やや悪いを選択している。
- ・悪いが多い3番目としては、小学生は机、椅子（使いやすさ）を、中学生は過ごしやすさ（暑さ・寒さ）を選択している。
- ・上記3点については、どの学校でも同様の傾向がある。
- ・悪い・やや悪いを選択した主な理由は、小学生では、教室が古く、汚れており、床を掃除してもきれいにならない、黒いところがある、がたついている、隙間があり、ゴミが詰まっている、虫がでてくるといったこと、また、荷物を置くところがない、教科書が置けない、歩けない、机や椅子ががたがたする、机に落書きや穴がある、椅子がギーギーなるといったことが挙げられた。
- ・中学生では、教室が狭く、物を置く場所がない、教科書が置けない、机に荷物を掛けるから歩きにくいことが突出している。また、床がきたない、つるつる、ゴミが

詰まっている、扇風機が壊れている、エアコンがすぐ効かないなどが挙げられた。

【図書室】

児童生徒に、図書室の良さ・悪さをきいたもの

項目	小学生（人）		中学生（人）	
	良い やや良い	悪い やや悪い	良い やや良い	悪い やや悪い
広さ	1,848	53	1,625	78
本の数、種類	1,800	101	1,604	99
机、椅子（使いやすさ）	1,804	97	1,635	68
明るさ	1,864	37	1,624	79
過ごしやすさ（暑さ・寒さ）	1,847	54	1,652	51

- ・悪い・やや悪いはほとんどないが、悪いを選択した理由をみると、本の種類が少ないことが主に挙げられている。また、小学生では椅子のがたつきがあること、中学生は明るさが次の理由に挙げられている。

【特別教室】

児童生徒に、特別教室（図書室除く）の良さ・悪さをきいたもの

項目	小学生（人）		中学生（人）	
	良い やや良い	悪い やや悪い	良い やや良い	悪い やや悪い
広さ	1,849	52	1,618	85
本の数、種類	1,831	70	1,612	91
机、椅子（使いやすさ）	1,770	<u>131</u>	1,489	<u>214</u>
明るさ	1,863	38	1,649	54
過ごしやすさ（暑さ・寒さ）	1,827	74	1,597	106

- ・悪い・やや悪いはほとんどないが、悪いを選択した理由をみると、机・椅子の状態が悪いことが挙げられており、古い、ささくれているといった声があった。また、暑さ、寒さが厳しいことも挙げられている。

【全体の設備】

児童生徒に、学校全体の設備の良さ・悪さをきいたもの

項目	小学生（人）		中学生（人）	
	良い やや良い	悪い やや悪い	良い やや良い	悪い やや悪い
廊下の通りやすさ	1,762	139	1,470	233
階段の通りやすさ	1,747	154	1,432	271
トイレの使いやすさ・きれいさ	1,203	<u>698</u>	1,087	<u>616</u>
手洗い場の使いやすさ	1,644	<u>257</u>	1,305	<u>398</u>
昇降口の使いやすさ	1,775	126	1,547	156
運動場の広さ	1,740	161	1,547	174

- ・トイレの使いやすさ・きれいさについて、悪いという声が他の設備と比べて圧倒的に多い。ただし、小規模校の回答者の約4割、適正規模校の回答者の約5割から声があるのに、大規模校では回答者の約2割と意見が少なめであった。
→仮設校舎を設置し、きれいなトイレが一定存在しているからではないかと思われる。
- ・水回り関係は、トイレだけでなく、手洗い場も数が少なく、使いにくいといった声が他の項目より多くあった。
- ・運動場は狭いという声が、小規模校は4%、適正規模校は6%であるが、大規模校からは15%あった。児童生徒が多いこと、仮設校舎により狭くなったとの意見があった。
- ・廊下に人が滞留（休み時間等に廊下で児童生徒が話をしている）しており、通路が狭いという声があった。

【プール】

プールの跡地利用についてきいたもの

項目	小学生（人）		中学生（人）	
みんなで遊べる広場	1,152	60%	1,005	59%
野菜を育てる畑	416	22%	344	20%
花壇	148	8%	152	9%
その他	186	10%	201	12%

- ・プールの跡地は、みんなであそべる広場がよいという意見が6割、野菜を育てる畑が2割、花壇が1割であった。
 - ・その他の意見としては、記述された内容のうち、その4割が体育館・運動広場としての整備、2割弱が遊び場の整備であった。
- 総じて、児童用の遊び場所としての活用が求められている。

【あぶないと感じる場所】

学校であぶないと感じる場所をきいたもの

あぶないと感じ たと回答が多い 順	小学生（人）		中学生（人）	
1	廊下、階段、スロープ	276	廊下、階段、スロープ	210
2	校庭・遊具	163	池	44
3	教室	40	校舎・トイレ	22

- ・あぶないと感じる回答者のうち、小学生、中学生ともに4割が廊下、階段を挙げており、その理由としては、渡り廊下が雨の日すべりやすく、柵も低いので落ちそうな感じがして危ないとのことである。また、廊下の曲がり角はぶつかるかもしれず、階段は滑り止めが剥がれている等で危ないというものであった。
- ・小学生の回答で2番目に多かったものは、校庭・遊具であり、校庭の草むら（虫）やバックネット裏があぶない、遊具は登り棒やジャングルジムが高いのであぶないという意見があった。
- ・中学生の回答で2番目に多かったものは、池であり、落ちる感じがあるのであぶないという意見があった。
- ・小学生の回答で3番目に多かったものは、教室であるが、主に理科室のことであった。ガスやガラスなど、色々な実験器具等が置いてあるため、あぶないと思ったようである。
- ・中学生の回答で3番目に多かったものは、トイレが暗くてあぶない、滑りやすいという意見があった。また、昇降口といった意見もあった。

【あったら良いと思う部屋や物】

学校にあったら良いと思う部屋や物をきいたもので、意見の多かった順に並べている。

あったら良いと 思う部屋や物の 多い順	小学生（人）		中学生（人）	
1	遊び部屋、運動できる 部屋	167	自習室、勉強室	73
2	休憩室・静かにできる 部屋	128	遊び部屋、運動できる 部屋	65
3	遊具・運動遊具	123	休憩室・静かにできる 部屋	57

- ・小学生では、第一に、みんなで遊べる、雨の日でも遊べる部屋や運動できる部屋を、次にリラックスできる部屋、落ち着いたり、寝たりするための休憩室の声が多い。そして、遊具がほしいとのことであった。

- 中学生では、第一に、自習室や読書室という声が多い。次に、室内で身体を動かせるようなミニ体育館やトレーニングルーム、第三に、静かに休憩できる場所であった。

☆ フォーム詳細 - 新しい時代の学びを支える学習環境の整備に向け…

② 質問項目設定

基本情報設定

高学年設定

権限設定



Q1. あなたの勤務されている学校名をお答えください。（1つえらぶ） 必須

項目ID: 1

ラジオボタン (1つ選択)

大住小学校
田辺小学校
草内小学校
三山木小学校
普賢寺小学校
田辺東小学校
松井ヶ丘小学校
新小学校
桃園小学校
田辺中学校
大住中学校
培良中学校

Q2. あなたの年齢を教えてください。（1つえらぶ） 必須

項目ID: 2

ラジオボタン (1つ選択)

20代
30代
40代
50代
60代

Q3. あなたの教員としての勤続年数をお答えください 必須

項目ID: 14

ラジオボタン (1つ選択)

5年未満
5年以上10年未満
10年以上15年未満
15年以上20年未満
20年以上30年未満
30年以上

Q4. これからの公立学校での学習において特に重点を置くべきと考える

ことは何ですか。（3つまで○を付けてください。）

項目ID: 15

チェックボックス (複数選択)

- 1 学力の向上（成績の向上）
- 2 少人数教育の実施
- 3 外国語教育の充実
- 4 ICT等の機器の活用能力向上
- 5 総合的な学習の時間の充実
- 6 体力の向上
- 7 健康に関する教育の充実
- 8 体験学習の充実
- 9 キャリア教育の充実
- 10 規範意識の向上
- 11 コミュニケーション能力の向上
- 12 部活動・クラブ活動の充実
- 13 他の学校との交流
- 14 地域社会へ主体的に取り組む態度の涵養
- 15 特別支援教育の充実
- 16 不登校対策
- 17 小中一貫教育
- 18 地域に開かれた学校活動（公開授業や学校運営協議会の導入）
- 19 幼稚園・こども園・保育所・小学校・中学校間の連携
- 20 家庭環境などによる教育格差の是正
- 21 教員の研修
- 22 学校外人材の活用
- 23 学校施設の老朽化対策

その他

Q5. Q4で選択した重点について、実現するためには、具体的にどのような取組が必要と思いますか。（自由にお書きください）

項目ID: 16

テキスト入力 (複数行)

Q6. 新しい時代の学びは、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が重要であると言われており、特に協働的な学びを組みこんだ授業が重要と考えていますが、主にどれを重視して取り組んでいますか。（2つまで○を付けてください。）

項目ID: 17

チェックボックス (複数選択)

- 1 他者と共に問題の発見や解決に挑む等の学習活動の設定
- 2 自分の意見や考え等を全体で発表する場の設定
- 3 児童生徒一人一人の意見や考え等をグループや全体で共有し、比較する学習活動の設定
- 4 多様な意見を共有しつつ合意形成を図る学習活動の設定
- 5 学校外とつながる学習活動の設定

6 学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識付けさせる学習活動の設定

その他

Q7. Q 6 の授業を行うのに困ったことがあれば具体的に教えてください。また、授業を進めるのに役立つ教室環境、設備はどんなものがあると思いますか。（自由にお書きください）

項目ID: 18

テキスト入力 (複数行)

Q8. 国は柔軟で創造的な学習空間の実現に向けて、教室空間の例示がされていますが、次のような設備があれば活用したいですか。あてはまるものを選択してください。（それぞれ1つえらぶ）

項目ID: 3

グリッド (各行から1つずつ選択)

- 1 学習方法によって空間を広げられるよう壁を可動式の間仕切りにした普通教室 [Yes No]
- 2 児童生徒がグループ学習で整理しやすいよう教室の壁 4 面をホワイトボードにした普通教室 [Yes No]
- 3 移動が容易なコマ付きの椅子 [Yes No]
- 4 天板が大きい机 [Yes No]
- 5 読書だけではなく、対話したり、授業にも活用できるよう机椅子が整備された学校図書館 [Yes No]

Q9. Q 8 で「No」と回答された理由を教えてください。（自由にお書きください）

項目ID: 19

テキスト入力 (複数行)

Q10. 学校には、普通教室のほか、特別教室等の諸室を設置することとなっていますが、教育活動を行う上で困っていることはありますか。あてはまるものを選択してください。（それぞれ1つずつえらぶ）

項目ID: 20

グリッド (各行から1つずつ選択)

- 1 理科教室 [課題はある 課題はない]
- 2 家庭教室 [課題はある 課題はない]
- 3 音楽教室 [課題はある 課題はない]
- 4 学校図書館 [課題はある 課題はない]
- 5 図画工作教室※小学校 [課題はある 課題はない]
- 6 視聴覚室※小学校 [課題はある 課題はない]
- 7 特別活動室※小学校 [課題はある 課題はない]
- 8 美術教室※中学校 [課題はある 課題はない]
- 9 技術教室※中学校 [課題はある 課題はない]
- 10 P Cルーム※中学校 [課題はある 課題はない]
- 11 進路資料・指導室※中学校 [課題はある 課題はない]
- 12 通級指導教室 [課題はある 課題はない]
- 13 体育館 [課題はある 課題はない]
- 14 職員室 [課題はある 課題はない]
- 15 会議室 [課題はある 課題はない]
- 16 保健室 [課題はある 課題はない]

Q11. Q 1 1で「課題はある」を選択された方にお尋ねします。具体的にはどのようなことでしょうか。（自由にお書きください）

項目ID: 6

テキスト入力 (複数行)

Q12. Q 1 2の特別教室等の課題への対策や解決するアイデアがありましたら教えてください。（自由にお書きください）

項目ID: 21

テキスト入力 (複数行)

Q13. 児童生徒の学習活動を考えた場合に、新たに必要となる特別教室等があると思いますか。また、特別教室の機能に着目し、2つを合わせて1つの教室にしたり、役割を終えて今後不要となるものがあると思いますか。（自由にお書きください）

項目ID: 22

テキスト入力 (複数行)

Q14. 児童生徒の多様な背景や特性を踏まえて、落ち着いたりするため

の設備のアイデアがあれば教えてください。（自由にお書きください）

項目ID: 23

テキスト入力（複数行）

Q15. 「生きる力」の育成に、多様な人々とのつながりを保ちながら学ぶことが求められており、学校の教育力向上に向けて、地域との協力関係で将来どこに重点を置く必要があると思いますか。（2つまで○を付けてください。）

項目ID: 5

チェックボックス（複数選択）

- 1 授業補助（ゲストティーチャー等）の推進
- 2 地域の施設等を利用した校外学習の推進
- 3 放課後や休日に学校の施設を積極的な開放
- 4 部活動・クラブ活動支援
- 5 安全指導等の学校支援ボランティアを積極的に受入れ
- 6 他の公共施設との複合化

その他

Q16. Q15で選択したことを実現するために必要な施設・設備はどのようなものがあればいいと思いますか。

項目ID: 24

テキスト入力（複数行）

Q17. あなたが勤務している学校の普通教室や設備について、困っていることはありますか。あてはまるものを選択してください。（それぞれ1つずつえらぶ）

項目ID: 9

グリッド（各行から1つずつ選択）

- 1 普通教室の広さ [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 2 普通教室の配置 [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 3 黒板（板書・投影スペース） [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 4 児童・生徒の収納スペース [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 5 ICT環境 [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 6 普通教室の教員スペース [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 7 床（きれいさ） [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 8 机、椅子（使いやすさ） [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 9 明るさ [課題はある どちらとも言えない 課題はない]

- 1 0 すごしやすさ（暑さ・寒さ） [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 1 1 廊下の通りやすさ [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 1 2 階段の通りやすさ [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 1 3 トイレの使いやすさ・きれいさ [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 1 4 手洗い場の使いやすさ [課題はある どちらとも言えない 課題はない]
- 1 5 防犯用具の数 [課題はある どちらとも言えない 課題はない]

Q18. Q17で「課題はある」を選択された方にお尋ねします。具体的にはどのようなことでしょうか。（自由にお書きください）

項目ID: 10

テキスト入力 (複数行)

Q19. Q17の課題への対策や解決するアイデアがありましたら教えてください。（自由にお書きください）

項目ID: 25

テキスト入力 (複数行)

Q20. 水泳授業は委託しており、学校プールはもう使いません。あなたが勤務している学校のプール跡地の活用について良いと思うものを教えてください。（1つに○を付けてください。）

項目ID: 26

ラジオボタン (1つ選択)

- 1 広場等の屋外空間（児童限定）
- 2 広場等の屋外空間（地域開放も含む）
- 3 スポーツ施設（地域開放も含む）
- 4 駐車場（学校職員用）
- 5 留守家庭児童会（学童保育）施設
- 6 防災備蓄倉庫
- 7 民間事業者への売却、貸付
- 8 校舎等
- その他

Q21. あなたが勤務している学校のプール跡地を地域の方など学校関係者以外が利用することをどう思われますか。

項目ID: 27

ラジオボタン (1つ選択)

課題がある
どちらとも言えない
課題はない

Q22. Q21で「課題がある」を選択された方にお尋ねします。具体的にはどのようなことでしょうか。（自由にお書きください）

項目ID: 28

テキスト入力 (複数行)

Q23. 学校施設について意見があれば教えてください。（自由にお書きください）

項目ID: 12

テキスト入力 (複数行)

☆ フォーム詳細 - これからの学校の施設(しせつ)についてのアンケ…

質問項目設定

基本情報設定

高度な設定

権限設定



Q1. あなたの学校名を教えてください。（1つえらぶ） 必須 項目ID: 1

ラジオボタン (1つ選択)

大住小学校
田辺小学校
草内小学校
三山木小学校
普賢寺小学校
田辺東小学校
松井ヶ丘小学校
薪小学校
桃園小学校
田辺中学校
大住中学校
培良中学校

Q2. あなたの学年を教えてください。（1つえらぶ） 必須 項目ID: 2

ラジオボタン (1つ選択)

小学4年生
小学5年生
小学6年生
中学1年生
中学2年生
中学3年生

Q3. あなたの【教室】について、次のことを教えてください。（それぞれ1つえらぶ） 必須

項目ID: 3

グリッド (各行から1つずつ選択)

教室の広さ [良い やや良い やや悪い 悪い]
教室の黒板 (大きさ・使いやすさ) [良い やや良い やや悪い 悪い]
教室で荷物をおく場所 (広さ) [良い やや良い やや悪い 悪い]
教室の床 (きれいさ) [良い やや良い やや悪い 悪い]
教室のつくえ、イス (使いやすさ) [良い やや良い やや悪い 悪い]
教室の明るさ [良い やや良い やや悪い 悪い]
教室の過ごしやすさ (暑さ・寒さ) [良い やや良い やや悪い 悪い]

項目ID: 3 の値が やや悪い と一致する または 項目ID: 3 の値が 悪い と一致する の場合に以下の項目を表示

Q4. Q 3 で教室について「やや悪い」「悪い」と答えた人にお聞きします。どのように悪いのか、くわしく教えてください。

項目ID: 4

テキスト入力 (複数行)

Q5. 【図書室】について、次のことを教えてください。（それぞれ1つえらぶ） 必須

項目ID: 5

グリッド (各行から1つずつ選択)

図書室の広さ [良い やや良い やや悪い 悪い]

図書室の本の数、しゅるい [良い やや良い やや悪い 悪い]

図書室のつくえ、イス（使いやすさ） [良い やや良い やや悪い 悪い]

図書室の明るさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

図書室のすごしやすさ（暑さ・寒さ） [良い やや良い やや悪い 悪い]

項目ID: 5 の値が やや悪い と一致する または 項目ID: 5 の値が 悪い と一致する の場合に以下の項目を表示

Q6. Q 5 で図書室について「やや悪い」「悪い」と答えた人にお聞きします。どのように悪いのか、詳しく教えてください。

項目ID: 6

テキスト入力 (複数行)

Q7. 【特別教室（図書室以外の理科室や音楽室など）】について、次のことを教えてください。（それぞれ1つえらぶ） 必須

項目ID: 7

グリッド (各行から1つずつ選択)

特別教室広さ [良い やや良い やや悪い 悪い]

特別教室の道具や機器【きき】※例：理科室の実験道具や音楽室の楽器など [良い やや良い やや悪い 悪い]

特別教室のつくえ、イス（使いやすさ） [良い やや良い やや悪い 悪い]

特別教室の明るさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

特別教室のすごしやすさ（暑さ・寒さ） [良い やや良い やや悪い 悪い]

項目ID: 7 の値が やや悪い と一致する または 項目ID: 7 の値が 悪い と一致する の場合に以下の項目を表示

Q8. Q 7で特別教室について「やや悪い」「悪い」と答えた人にお聞きします。どのように悪いのか、くわしく教えてください。

項目ID: 8

テキスト入力 (複数行)

Q9. あなたが通っている学校のことについて、教えてください。あてはまるものを選択してください。 必須

項目ID: 9

グリッド (各行から1つずつ選択)

廊下【ろうか】の通りやすさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

階段【かいだん】の通りやすさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

トイレの使いやすさ・きれいさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

手あらい場の使いやすさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

校舎【こうしゃ】の出入り口の使いやすさ [良い やや良い やや悪い 悪い]

運動場の広さ [良い やや良い やや悪い 悪い]

項目ID: 9 の値が やや悪い と一致する または 項目ID: 9 の値が 悪い と一致する の場合に以下の項目を表示

Q10. Q 9で「やや悪い」「悪い」と答えた人にお聞きします。どのように悪いのか、くわしく教えてください。

項目ID: 10

テキスト入力 (複数行)

Q11. 学校にあるプールはもう使いません。プールをなくして、その場所をどのように使ったらいいと思いますか。あてはまるものを選択してください。

項目ID: 14

ラジオボタン (1つ選択)

1 みんなであそべる広場

2 野菜【やさい】を育てる畑

3 お花を育てる花壇【かだん】

その他

Q12. 学校であぶないと感じる場所があれば教えてください。（自由に書いてください）

項目ID: 15

テキスト入力 (複数行)

Q13. 学校の中にあったら良いなと思う部屋や物があれば教えてください。（自由に書いてください）

項目ID: 16

テキスト入力 (複数行)